

四国森林管理局入札監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：平成23年3月31日)

開催日及び場所		平成23年 3月18日(金曜日) 四国森林管理局会議室		
委員		渡邊 法美 (高知工科大学マネジメント学部教授) 横川 和博 (高知大学人文学部教授) 笹原 克夫 (高知大学農学部教授) 川合 通子 (高知県森と緑の会理事長) 古谷 純代 (高知商工会議所女性会会長)		
審議対象期間		平成22年10月 1日～平成22年12月31日		
審議対象案件		81件 うち、1者応札案件26件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件		
抽出案件		51件 うち、1者応札案件 15件 (抽出率63%) (抽出率58%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件 (抽出率67%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争 14件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
		指名競争	公募型指名競争	該当なし
			工事希望型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
	随意契約		該当なし	
	業務	一般競争 10件 うち、1者応札案件 0件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件		
		指名競争	公募型競争	該当なし
			簡易公募型競争	該当なし
			その他の指名競争	該当なし
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし
簡易公募型プロポーザル			該当なし	
標準型プロポーザル			該当なし	
その他の随意契約	該当なし			
物品・役務等	一般競争 25件 うち、1者応札案件 13件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件			
	指名競争		該当なし	
	随意契約(企画競争・公募)		該当なし	
随意契約(その他)		2件		
(特記事項) なし				

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問 それに対する回答等	<p>○ 治山・林道工事の入札において、予定価格を超過した入札価格が多い。官積算が適切でない可能性もあるので、その妥当性を検証すべきではないか。</p> <p>○ 造林事業においては1者応札が多く気にかかるが、その業者しか受注できない理由があるのか。</p> <p>○ 応札者を増やすために何か努力はしているのか。 また、発注時期の予告等を行っているのか。</p> <p>○ 各事業の作業期間について、異常気象、災害の際は配慮があるのか。</p> <p>○ 生産事業において不落随契があるが、不適切な時期に不適切な規模の事業を発注していたのではないか。</p>	<p>○ 今回は予定価格超過者が多いので、今後注意深く見ていくとともに、必要があれば積算方法についても改善に向け引き続き努力していきたい。</p> <p>○ 四国局管内では、他の地域と比べて請負事業体の絶対数が少なく、民有林における森林整備は森林組合が主体となっている。 森林組合は地元の民有林での作業を主とすることから、四国局が業務を発注した場合でも、発注箇所周辺の地元の森林組合が応札している。 森林組合などの事業体は当面の作業が確保できていれば無理には応札してこないのではないかと考える。</p> <p>○ 入札に参加していただく機会を増やすための情報発信として、平成20年以降に四国森林管理局管内の造林事業において応札実績のある不特定多数の事業体にメール、FAX等で入札情報を提供するなどの取組を行っている。努力をしている。 また、年間の発注見込みの情報を年度当初にHP上で公表している。</p> <p>○ 予定価格の金額によって標準的な期間の定めはあるが、発注の際は時期的なものを考慮して設定したり、異常気象等の際に期間を延長するなど請負事業体に配慮している。</p> <p>○ 生産事業は作業期間が長くなることから期間を十分に設ける必要があるが、この箇所は自然公園であることから入林者が減少する秋以降に発注しなければならず、結果として作業期間が短くなったために応札者がいなかったが、共同事業体であれば作業可能であることから受注していただいたものである。</p>
委員会による意見の具申又は勧告の内容 [これらに対し部局長が講じた措置]	特になし	